

犬の足

屋良 朝乗 (1892・M25) 字瀬名波 (01:00)

いん ひさ みー あ わっ くー
犬ぬ足ぬ三ち有たんでいしえーよー。私たー小て
はなし げき ち
んぐわーそーいにぬ 話、うんに劇をうてい聞ちやし
がよー。

ひさ みー ゆ なか たみ
足あ三ちなたぐとう、「なー、くぬ世ぬ中ぬ為んな
ていー ひさぬー
らん」ぐとうでいち、「なー ちえー足貰らしみそ
かみさま にか
ーり」でい、神様んかい願たぐとうやー。

かみさま かわいそう うむ
神様やまた、「あんやさ」でいち、可哀想に思やー
どうー めー む こーる うこー た
に。自分ぬ前んかい座ちよーる香炉ぬよ、御香る立て
こーる ひさ ゆー あ
いーる香炉ぬ足あ四ち有たんでい。

「とー、いやーや座ちー何んならん。何んさんるあ
ひさていー いぬ わ
ぐとう、いやー足 ちえー犬んかい分きれー」でい
ち。「あんししまびーん」でいち、犬んかい分きたぐ
いの いっぺーありがた かみさま
とうやー、犬おなー大変有難いし、神様んかい。

いん しーばい ひさひ
ありが、犬ぬ小便しーに足引ったていーしやー、
かみさま くい ひさ しーばいひ
「神様ぬ呉てーみしえーぬ足んかい、小便引っちゃ
ひさひ はなしー
きてーならん」でいち、足引ったていーんでいぬ 話
ち
や聞ちやさ。

【共通語訳】

犬の足は三本だったという話はね。私が小さい頃に、
劇で見たんだがね。

足が三本しか無かった犬は「これでは世の中の為に
尽くせない」と考えて、「もう一本足を下さい」と、神
様をお願いした。

それを聞いた神様は、「それもそうだな」と、犬を気
の毒に思った。神様の前にある香炉には足が四本あっ
たんだって。

そこで、神様は香炉に、「そうだ、お前は座ってばか
りで動くことはない。いつも座ってばかりだから、お
前の足を一本犬にあげなさい」とおっしゃった。香炉
は「いいですよ」と、犬に足を一本分けてあげたので、
四本足になった犬は神様に心から感謝した。

それから、犬が小便をする時に片足を上げるのは、
「神様がくださった大切な足に、小便をかけてはいけ
ない」と、片足を上げるようになったという話を聞い
たよ。